

2024年9月13日

株式会社三菱UFJ銀行

## 水素ファンドへの出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅん いち</sup>半沢 淳 一、以下 当行）は、今般、主要LP投資家として、水素分野への投資に特化したファンド「Japan Hydrogen Fund」（以下 本ファンド）と出資契約を締結いたしました。

本ファンドは、水素の社会実装をめざし設立された一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会（以下 JH2A）が設立を検討し、株式会社アドバンテッジパートナーズ（以下 AP）を主たるファンド運営者として選定し、設立の準備を進めてきたものです。本ファンドは、気候変動への対応のため、全世界において、水素などの製造施設、貯蔵施設、輸送施設、利活用のための設備、並びにこれらのインフラ設備への技術・サービス提供会社などへ投資を行い、経済産業省や世界の公的セクター及び民間セクターとの協業を通じ、水素サプライチェーンの早期社会実装化とスケールアップを図ることをめざします。

JH2Aは、世界的な課題である気候変動への対応のため、水素サプライチェーン構築に向けて、①水素需要創出、②スケールアップ・技術革新によるコスト低減、③事業者に対する資金供給などの課題解決を目的とした業界横断的な団体として、2020年12月に設立されました。三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）は、設立当初から理事企業の一角として加盟し、水素産業の進展に向けて政策提言を含め主体的にJH2Aの活動に関与しております。特に、本ファンドの起案・検討を推進してきた金融委員会においては、中核企業としてグローバルベースでの投融資知見を活かし金融面から水素の社会実装に向けた活動を推進しています。

MUFGは、「世界が進むチカラになる。」をパーパス（存在意義）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています<sup>1)</sup>。水素は日本及び世界のエネルギートランジションにおいて重要な役割を果たすと見込まれており、当行はグローバルNo.1であるプロジェクトファイナンスの知見を活かし、投融資やアドバイザーとして先進的取り組みに注力しております。引き続き、本ファンドの主要投資家としても、黎明期にある水素産業に資金供給を行ないつつ、水素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

### 【GPの概要】

名称	Japan Hydrogen Fund GP, Inc.※
所在地	英領ケイマン諸島、グランド・ケイマン、ジョージ・タウン、190 エルジン・アベニュー
代表者	取締役 ダグラス・R・ストリンガー、ウォーレン・キーンズ
事業内容	投資事業組合財産の運用及び管理

※ GPは、本ファンドのジェネラル・パートナーであるJapan Hydrogen Fund GP, L.P.のジェネラル・パートナーとして、本ファンドの運用・管理を担っております。

**【JH2Aの概要】**

名称	一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会
所在地	東京都千代田区霞が関3丁目2-5霞が関ビルディング36F
代表者	会長 内山田 竹志、國部 毅、牧野 明次
事業内容	社会実装プロジェクトの提案・調整、需要創出・規制緩和等の政策提言等
URL	<a href="https://www.japanh2association.jp/">https://www.japanh2association.jp/</a>

**【APの概要】**

名称	株式会社アドバンテッジパートナーズ※
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目1番28号虎ノ門タワーズオフィス17階
代表者	代表取締役 笹沼 泰助、喜多 慎一郎
事業内容	プライベートエクイティファンドの管理・運営
URL	<a href="https://www.advantagepartners.com/">https://www.advantagepartners.com/</a>

※ 株式会社アドバンテッジパートナーズは、その親会社であるAdvantage Partners Pte. Ltd.を通じて、本ファンド及び本ファンドのジェネラル・パートナーであるJapan Hydrogen Fund GP, L.P.に対して投資アドバイザリー業務を提供します。

① 気候変動に関する取組については下記リンクをご参照ください。

<https://www.mufg.jp/csr/environment/tcf/strategy/03/index.html>

以上